



TOKYO JOHO UNIVERSITY

東京情報大学

Since 1988

2019年度

Webシステムプログラミング^a

PHPの基礎(2)

講義内容

- 前回の提出課題の解答例
- 【復習】データを送信するためのHTML
(フォーム)
- PHPによるフォームデータの処理

(前回)提出課題

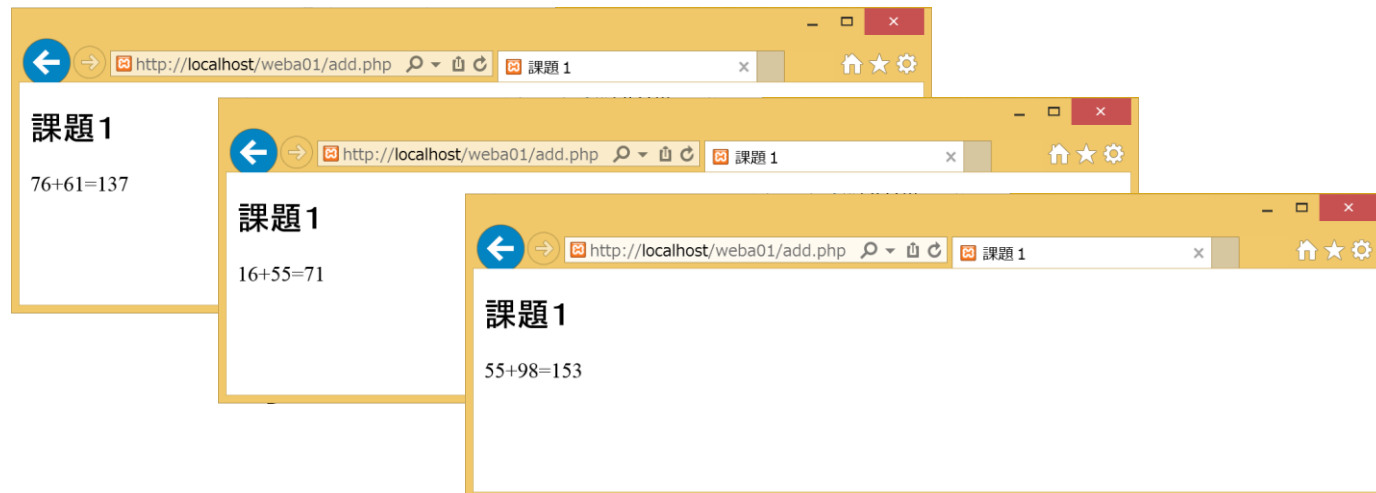
- 課題1: 1から100までの乱数で作成した2つの整数の足し算を表示するWebページを作成しましょう。

◆ 乱数を作成する関数: `rand(範囲の最小値 , 範囲の最大値)`

◆ ファイル名: 「`add.php`」

◆ アクセスURL: 「`http://localhost/php01/add.php`」

◆ 備考: ブラウザ再読み込み(F5キー)をするたびに式と結果が変わることを確認しましょう。



```
<!DOCTYPE html>
<html lang="ja">
<head>
<meta charset="UTF-8">
<title>課題1</title>
</head>
<body>

<h2>課題1</h2>

<?php
$val1 = rand(1,100);
$val2 = rand(1,100);
echo $val1 . "+" . $val2 . "=" . ($val1+$val2);
?>

</body>
</html>
```

(前回)提出課題

■ 課題2: 「九九」の表において

- ・3の付く数字は**太字**(例: 3 13 23 ...)
- ・4の倍数は**赤字**(例: 4 8 12 ...)
- ・3の付く数字で, かつ, 4の倍数は**赤字で太字**

になるようなWebページを作成してみましょう.

※実習2で作成した「kuku.php」ファイルをコピーして名前を変更, および内容を少し変更する.

◆ ファイル名: 「[kuku2.php](#)」

◆ アクセスURL: 「<http://localhost/php01/kuku2.php>」

．．．（略）．．．

```
for( $i=1; $i<=9; $i++ ){ // 繰り返し処理
    echo "<tr><td style='background-color:#99FF99'>" . $i . "</td>";
    for( $j=1; $j<=9; $j++ ){ // 繰り返し処理（2重ループ）
        $atai = $i * $j; // かけ算を結果を計算し変数$ataiに代入
        if( $atai % 4 == 0 ){
            echo "<td style='color:red'>";
        } else {
            echo "<td style='color:black'>";
        }
        if( ($atai%10 == 3) || ($atai>=30 && $atai<=39) ){
            echo "<b>" . $atai . "</b>";
        } else {
            echo $atai;
        }
        echo "</td>";
    }
    echo "</tr>¥n";
}
// ここまでがPHPのプログラムです
?>
```

．．．（略）．．．

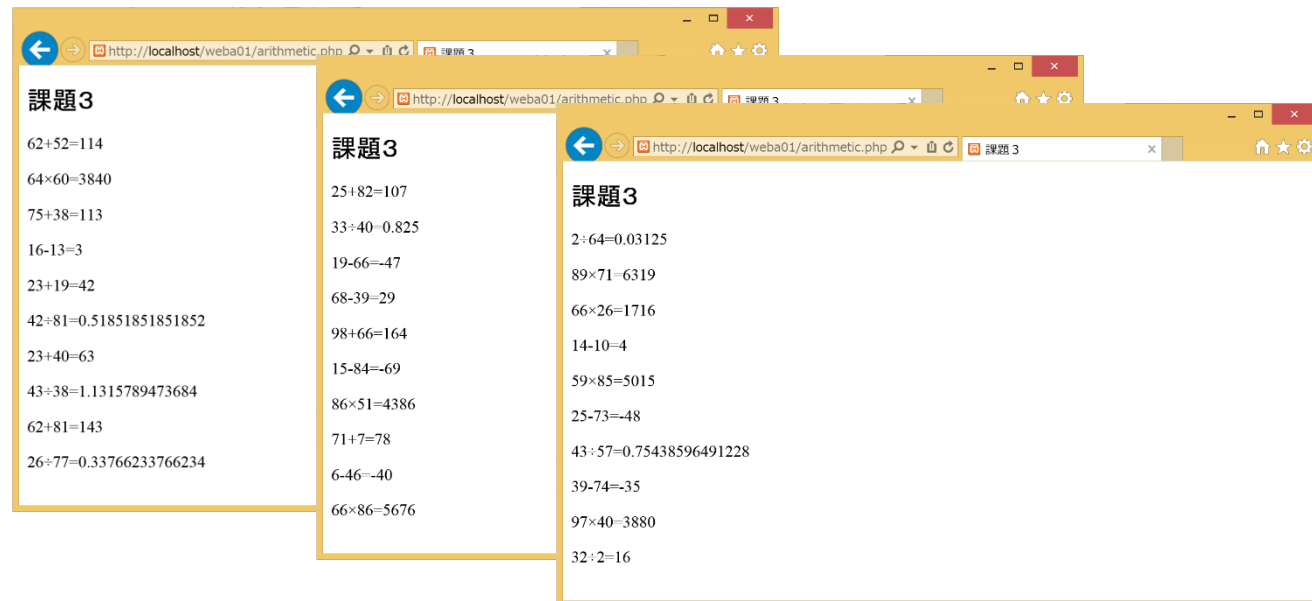
もしくは

```
if( strpos($atai,"3") !== false ){
```

(前回)提出課題

- 課題3: 課題1を改造し, 1から100までの乱数で作成した2つの整数の四則演算のどれか(これも乱数を使う)の式と結果を10個表示するWebページを作成しましょう.

- ◆ ファイル名: 「[arithmetic.php](#)」
- ◆ アクセスURL: 「<http://localhost/php01/arithmetic.php>」
- ◆ 備考: ブラウザ再読み込み(F5キー)をするたびに式と結果が変わることを確認しましょう.



```
<!DOCTYPE html>
<html lang="ja">
<head>
<meta charset="UTF-8">
<title>課題3</title>
</head>
<body>

<h2>課題3</h2>

<?php
for($i=0;$i<10;$i++){
    echo "<p>";
    $val1 = rand(1,100);
    $val2 = rand(1,100);
    $ope = rand(1,4);
    if( $ope == 1 ){
        echo $val1 . "+" . $val2 . "=" . ($val1+$val2);
    }elseif( $ope == 2){
        echo $val1 . "-" . $val2 . "=" . ($val1-$val2);
    }elseif( $ope == 3){
        echo $val1 . " × " . $val2 . "=" . ($val1*$val2);
    }else{
        echo $val1 . " ÷ " . $val2 . "=" . ($val1/$val2);
    }
    echo "</p>";
}
?>

</body>
</html>
```

arithmetic.php

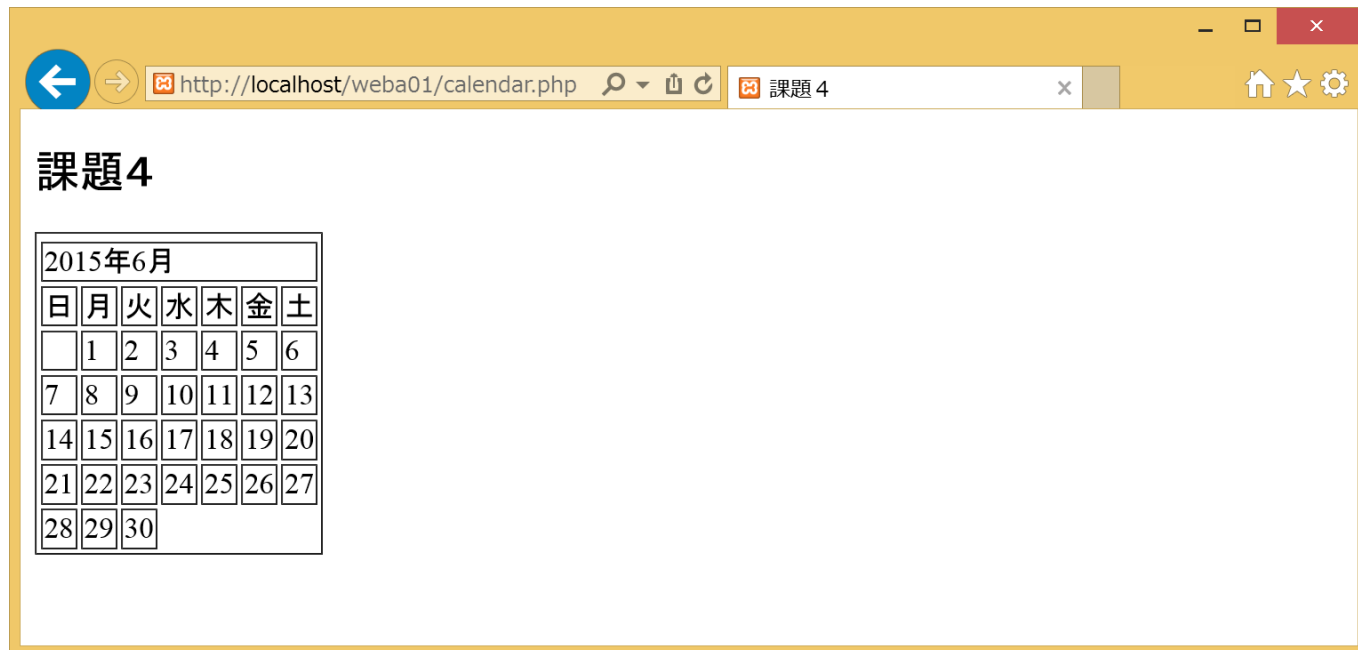
(前回)提出課題

- 課題4(上級問題): 現在の月のカレンダーを表示するWebページを作成しましょう.

※次ページのプログラムの???を考える.

◆ファイル名: 「calendar.php」

◆アクセスURL: 「<http://localhost/php01/calendar.php>」



```
<!DOCTYPE html>
<html lang="ja">
<head>
<meta charset="UTF-8">
<title>課題4</title>
</head>
<body>
```

前回のプログラムでは

```
$ndays = date("t"); // 現在の月の日数を取得
```

```
<h2>課題4</h2>
```

```
<p>
<?php
```

※ 前回のプログラムから変更

(前回の課題内容だと、どちらでも動くが、今回の後半にある提出課題でも使うので変更しておきます)

```
$year = date("Y"); // 現在の年を取得
$month = date("n"); // 現在の月を取得
```

```
// 現在月の始めの日の曜日を整数で取得(0:日曜...6:土曜)
$first_dweek = date("w", mktime(0,0,0,$month,1,$year));
```

```
$ndays = date("t", mktime(0,0,0,$month,1,$year)); // 現在の月の日数を取得
```

```
echo "<table border='1'><tr>";
echo "<tr><td colspan='7'>" . $year . "年" . $month . "月</td></tr>";
echo "<td>日</td><td>月</td><td>火</td><td>水</td><td>木</td><td>金</td><td>土</td></tr><tr>";
```

次ページに続く

calendar.php

```
// 最初の週の処理(始めの日の曜日まで空白セルにする)
for($i=0;$i<$first_dweek;$i++){
    echo "<td> </td>";
}

$current_dweek = $i; // 表示する日にちの曜日(整数. 0:日曜...6:土曜)
$day = 1; // 表示する日にちの初期化

while($day<=$ndays){ // 日にち表示の繰り返し
    if($current_dweek>6){ // 土曜を超えたら改行
        echo "</tr>¥n";
        echo "<tr>";
        $current_dweek = 0;
    }
    echo "<td>" . $day . "</td>"; // 日にちを表示
    $day++;
    $current_dweek++;
}
echo "</tr></table>";
?>
</p>

</body>
</html>
```

データを送信するためのHTML(1)

■ フォームデータの送信

➡ ユーザからデータを入力し、そのデータをPHPプログラムに送信するためのWebページの作り方

```
<form action="送信先ページURL" method="送信方式">  
...この間にフォームアイテムを記述する...  
</form>
```

※「送信先ページURL」はフォームデータを処理するPHPプログラムのURL(ファイル名)

※フォームデータの「送信方式」は2種類

◆ GETメソッド

```
<form action="..." method="GET">
```

- ・URLにフォームデータが付加されて送信される(ブラウザのアドレス欄でフォームデータが見れる).
- ・フォームデータを含めてブックマークできる.
- ・送信できるデータ量は少ない.

◆ POSTメソッド

```
<form action="..." method="POST">
```

- ・HTTPリクエストのボディ部に付加されて送信される(ユーザは直接フォームデータは見れない).
- ・大量データを送信できる.

データを送信するためのHTML(2)

■ フォームコントロールの種類



- ・送信ボタン
- ・テキスト入力エリア(1行 or 複数行)
- ・メニュー
- ・ラジオボタン
- ・チェックボックス
- など

データを送信するためのHTML(3)

■ 送信ボタン(フォームコントロールその1)

```
<input type='submit' value='ボタンに表示する文字列'>
```

※このボタンを押すとフォームデータがPHPプログラムに送られ、同時にそのプログラムが実行される

送信!

■ 1行テキスト入力エリア(フォームコントロールその2)

```
<input type="text" name="フォーム名">
```

ややや

- ※「フォーム名」はフォームデータを処理するPHPプログラムで必要になる.
- ※「フォーム名」は自分で自由につけられる.
- ※属性sizeの指定で入力の幅を指定できる.

```
<input type='text' name='フォーム名' size='2'>
```

他のフォームアイテムも同様

や

データを送信するためのHTML(4)

■ メニュー(フォームコントロールその3)

```
<select name='フォーム名'>
<option value='フォームデータ'>表示文字列</option>
...
</select>
```

※属性valueで指定したフォームデータが送られる(=表示文字列が送信されるわけではない)。

※「value="..."」は省略可能(その場合は「表示文字列」がそのままフォームデータとして送信される)

※デフォルトで選択しておく場合は **selected** をつける。

`<option value='フォームデータ' selected>表示文字列</option>`

選択肢にPHPのプログラム使った例

購入する個数を入力してください:

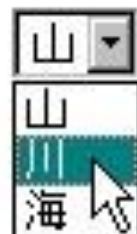
```
<select name='quantity'>
<?php
for($i=1;$i<=15;$i++){
    echo "<option value='{ $i }'>{ $i }個</option>";
}
?>
</select>
```



購入する個数を入力してください:

```
<select name='quantity'>
<option value='1'>1個</option>
<option value='2'>2個</option>
... (略) ...
<option value='15'>15個</option>
</select>
```

```
<select name="summer">
<option value="yama">山</option>
<option value="kawa">川</option>
<option value="umi">海</option>
</select>
```



データを送信するためのHTML(5)

■ ラジオボタン(フォームコントロールその4)

```
<input type='radio' name='フォーム名' value='フォームデータ'>表示文字列  
...
```

※ひとまとめにしたいラジオボタンは「name="..."」を同じにする必要がある

※デフォルトで選択しておく場合は **checked** をつける.

```
<input type='radio' name='フォーム名' value='フォームデータ' checked>
```

☒ 10代 ☐ 20代 ☐ 30代

```
<input type="radio" name="age" value="10">10代  
<input type="radio" name="age" value="20">20代  
<input type="radio" name="age" value="30">30代
```


データを送信するためのHTML(6)

■ チェックボックス(フォームコントロールその5)

```
<input type='checkbox' name='フォーム名' value='フォームデータ'>表示文字列  
...
```

※ひとまとめにしたいチェックボックスは「name="..."」を同じにする必要がある。

※デフォルトで選択しておく場合は **checked** をつける。

```
<input type='checkbox' name='フォーム名' value='フォームデータ' checked>
```

☐ ラジコン ☒ ゲーム ☒ 料理

```
<input type="checkbox" name="hobby" value="radicon">ラジコン  
<input type="checkbox" name="hobby" value="game">ゲーム  
<input type="checkbox" name="hobby" value="cooking">料理
```

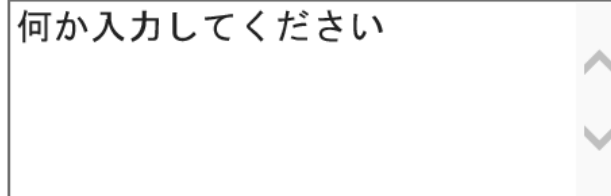
データを送信するためのHTML(7)

■ 複数行テキスト入力エリア (フォームコントロールその6)

```
<textarea name='フォーム名' rows='行数' cols='列数'>表示文字列</textarea>
```

※ 表示文字列は省略可能.

```
<textarea name="opinion">何か入力してください</textarea>
```



データを送信するためのHTML(8)

■ 隠しデータ(フォームコントロールその7)

```
<input type="hidden" name='フォーム名' value='フォームデータ'>
```

- ※ブラウザ上には表示されないデータを送信(=ユーザが入力・選択するフォームではない).
- ※ページ間でデータを引き継ぐ場合に使用.
- ※PHP等プログラムと組み合わせて使う(=HTML単独では使うことはない).
- ※ブラウザのソース表示でユーザに内容を見られてしまうので注意が必要(=セキュリティホールになり得る).

```
<?php  
$val = rand(1,100);  
echo "<input type='hidden' name='hoge' value='{ $val }'>";  
?>
```



ブラウザ上のソース表示(PHP実行後)

```
<input type='hidden' name='hoge' value='56'>
```

PHPによるフォームデータの処理(1)

■ フォームデータの受取り

```
$変数名 = $_GET["フォーム名"]
```

```
$変数名 = $_POST["フォーム名"]
```

※ フォームデータの送信方式により「\$_GET」と「\$_POST」を使い分ける

<form action="..." method="GET">の場合は「\$_GET」

<form action="..." method="POST">の場合は「\$_POST」

```
<html>
...
<form action="xxx.php" method="GET">
  <input type="text" name="number">
  <input type="text" name="hoge">
</form>
...
</html>
```



```
<?php
...
$datai = $_GET["number"];
$foo = $_GET["hoge"];
...
?>
```

xxx.php

PHPによるフォームデータの処理(2)

■ フォームデータの受取り(配列としてまとめて受け取る方法)

⇒ for文等の繰り返し処理を使って効率化できる.

- フォーム側・・・まとめて送りたいフォームはname属性を **フォーム名[]** として同じにする.
- 処理側・・・配列として処理する.

フォーム側

```
<html>
...
<form action="xxx.php" action="GET">
...
氏名1:<input type="text" name="hoge[]">
氏名2:<input type="text" name="hoge[]">
氏名3:<input type="text" name="hoge[]">
...
</html>
```



処理側

```
<?php
...
$atai = $_GET["hoge"];
...
echo $atai[0];
echo $atai[1];
echo $atai[2];
...
?>
```

[]をつけないことに注意！！

もちろん
for文を使ってもOK

```
for($i=0;$i<3;$i++){
    echo $atai[$i];
}
```

演習の準備

■ 実習0: 本日の演習用作業フォルダを作成しましょう。

◆ 手順1: 以下のフォルダの中に, 新規フォルダ「php02」を作成する。

Z:\xampp\htdocs\

※以下, 本日の演習でのファイルはすべてこの「php02」フォルダに作成すること。

PHPによるフォームデータの処理(3)

- 実習1: ユーザからの入力により異なる動きをする動的なWebページを作成しましょう.
 - ユーザから「名前」と「生まれた年」を入力してもらい、そのデータでWebページを表示する.
 - ◆ 手順1: 以下 (input_you.html) のHTMLのファイル(入力Webページ)を「input_you.html」という名前で作業フォルダに作成する.
 - ◆ 手順2: 以下 (you.php) のPHPプログラムのファイルを「you.php」という名前で作業フォルダに作成する.
 - ◆ 手順3: Webブラウザで手順1で作成したページにアクセスし確認する.
「http://localhost/php02/input_you.html」

PHPによるフォームデータの処理(4)

Mozilla Firefox

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 履歴(S) ブックマーク(B) ツール(T) ヘルプ(H)

http://localhost/db_sono2/input_you.html

localhost/db_sono2/input_you

あなたのお名前は？

氏名:

あなたの生まれた年は？

西暦(半角で入力): 年

input_you.html

情報太郎

shimei

1974

umare

フォームデータ

Mozilla Firefox

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 履歴(S) ブックマーク(B) ツール(T) ヘルプ(H)

http://localhost/d...i=情報太郎&umare=1974

localhost/db_sono2/you.php?s

ようこそ情報太郎さん！
あなたはだいたい37歳ぐらいですね。

you.php


```
<!DOCTYPE html>
<html lang="ja">
<head>
<meta charset="UTF-8">
<title>実習1</title>
</head>
<body>
```

```
<h2>実習1</h2>
```

「送信」ボタンを押すと `you.php` ページにジャンプする
(= `you.php` ページに以下のフォームデータが送られる)

```
<form ?????="you.php" method="GET">
```

```
<h2>あなたのお名前は？</h2>
```

```
<p>
```

```
氏名:<input type="text" name="shimei">
```

```
</p>
```

`shimei` という名前で `you.php` ページに入力されたデータ(=フォームデータ)が送られる

```
<h2>あなたの生まれた年は？</h2>
```

```
<p>
```

```
西暦(半角で入力):<input type="text" name="umare"> 年
```

```
</p>
```

```
<p>
```

```
<input type="submit" value="送信">
```

```
</p>
```

```
</form>
```

`umare` という名前で `you.php` ページに入力されたデータ(=フォームデータ)が送られる

```
</body>
```

```
</html>
```

```
<!DOCTYPE html>
<html lang="ja">
<head>
<meta charset="UTF-8">
<title>実習1</title>
</head>
<body>
```

```
<h2>実習1</h2>
```

```
<?php
// 氏名用フォームデータの取得
$nameae = $_GET["shimei"]; // フォームデータ「shimei」の値を変数 $nameae に代入
```

```
// 生まれ年用フォームデータの取得
$year = $_GET["?????"]; // フォームデータ「umare」の値を変数 $year に代入
```

```
// 結果表示
echo "ようこそ" . ?????? . "さん！<BR>¥n";
```

この「.」は文字列と文字列（もしくは変数に入っているデータなど）を結合するという意味

```
echo "あなたはだいたい" . ( date("Y")-$year ) . "歳ぐらいですね. ¥n";
```

関数 date("Y") は現時点での西暦4桁の数字を返す. この値から 変数 \$year に入っている数字（入力された生まれ年）を引く. この結果が年齢である.

```
?>
```

```
</body>
</html>
```

you.php

PHPによるフォームデータの処理(5)

- 実習2: ユーザからの入力により異なる動きをする動的なWebページを作成しましょう(ユーザから「背景の色」と「文字の色」, 「表示する文字列」を入力してもらい, そのデータでWebページを表示する. ちなみに色はRGB(=Red, Green, Blue)の強さで入力してもらう).
 - ◆ 手順1: 以下(input_color.html)のHTMLのファイル(色入力Webページ)を「input_color.html」という名前で作業フォルダに作成する.
 - ◆ 手順2: 以下(リスト3)のPHPプログラムのファイルを「color.php」という名前で作業フォルダに作成する.
 - ◆ 手順3: Webブラウザで手順1で作成したページにアクセスし確認する.
「http://localhost/php02/input_color.html」

PHPによるフォームデータの処理(6)

フォームデータ

Mozilla Firefox

http://localhost/db_sono2/input_color.html

背景の色(各0~255)

赤: 255

緑: 120

青: 50

文字の色(各0~255)

赤: 30

緑: 100

青: 255

表示する文字列

腹減った

送信

input_color.html

255
back_r

20
back_g

120
back_b

30
moji_r

100
moji_g

255
moji_b

腹減った
moji

Mozilla Firefox

http://localhost/db_sono2/color.php?back_r=255&back_g=120&back_b=50&moji_r=30&moji_g=100&moji_b=255&moji=腹減った

腹減った

color.php

```
<!DOCTYPE html>
<html lang="ja">
<head>
<meta charset="UTF-8">
<title>実習 2</title>
</head>
<body>
```

```
<h2>実習 2</h2>
```

「送信」ボタンを押すと color.php ページにジャンプする
(= color.php ページに以下のフォームデータが送られる)

```
<form action="???????" method="GET">
```

```
<h3>背景の色 (各0~255) </h3>
```

```
赤 : <input type="text" name="???????"><BR>
```

```
緑 : <input type="text" name="???????"><BR>
```

```
青 : <input type="text" name="???????"><BR>
```

back_r という名前で color.php ページに入力されたデータ(=フォームデータ)が送られる
(以下同様)

```
<h3>文字の色 (各0~255) </h3>
```

```
赤 : <input type="text" name="moji_r"><BR>
```

```
緑 : <input type="text" name="moji_g"><BR>
```

```
青 : <input type="text" name="moji_b"><BR>
```

```
<h3>表示する文字列</h3>
```

```
<input type="text" name="moji">
```

```
<p>
```

```
<input type="submit" value="送信">
```

```
</p>
```

```
</form>
```

```
</body>
```

```
</html>
```

```
<!DOCTYPE html>
<html lang="ja">
<head>
<meta charset="UTF-8">
<title>実習2</title>
</head>

<?php
// 背景色用フォームデータの取得
$b_r = $_GET["back_r"]; // フォームデータ「back_r」の値を変数 $b_r に代入
$b_g = $_GET["back_g"];
$b_b = $_GET["back_b"];

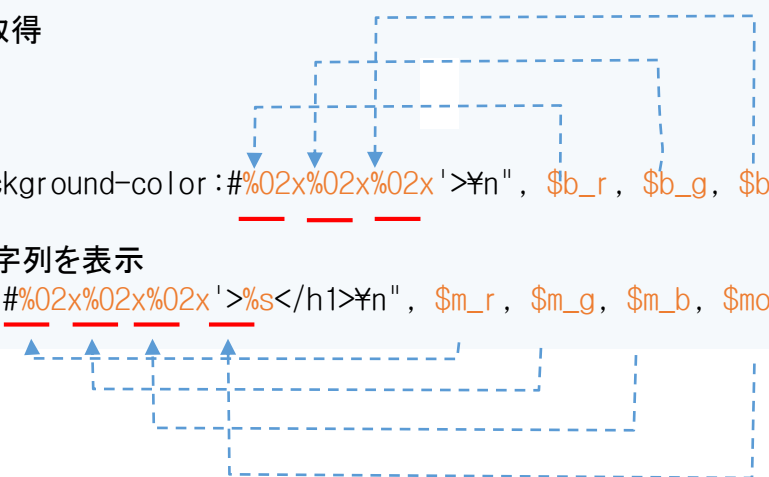
// 文字色用フォームデータの取得
$m_r = $_GET["???"];
$m_g = $_GET["???"];
$m_b = $_GET["???"];

// 文字列フォームデータの取得
$moji = $_GET["???"];

// 背景の設定
printf( "<body style='background-color: #%02x%02x%02x'>%n", $b_r, $b_g, $b_b );

// 指定された文字の色で文字列を表示
printf("<h1 style='color: #%02x%02x%02x'>%s</h1>%n", $m_r, $m_g, $m_b, $moji );
?>

</body>
</html>
```



提出課題

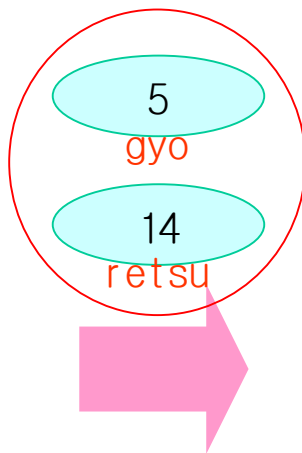
- 課題1: 九九の表においてサイズ(「行数」と「列数」)を入力し「送信ボタン」を押すと、そのサイズの九九の表(もう九九とは呼べないが...)を表示する動的なWebページを作しましょう。
 - ◆ 手順1: HTMLのファイル(「行数」「列数」入力Webページ)を「input_kuku.html」という名前で作業フォルダに作成する。
 - ◆ 手順2: PHPプログラムのファイルを「kuku.php」という名前で作業フォルダに作成する(前回の資料を参考にすること)。
 - ◆ 手順3: Webブラウザで手順1で作成したページにアクセスし確認する。
「http://localhost/php02/input_kuku.html」

九九課題

表示したい九九表のサイズは？

行数:

列数:



九九課題

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
1	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
2	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24	26	28
3	3	6	9	12	15	18	21	24	27	30	33	36	39	42
4	4	8	12	16	20	24	28	32	36	40	44	48	52	56
5	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70

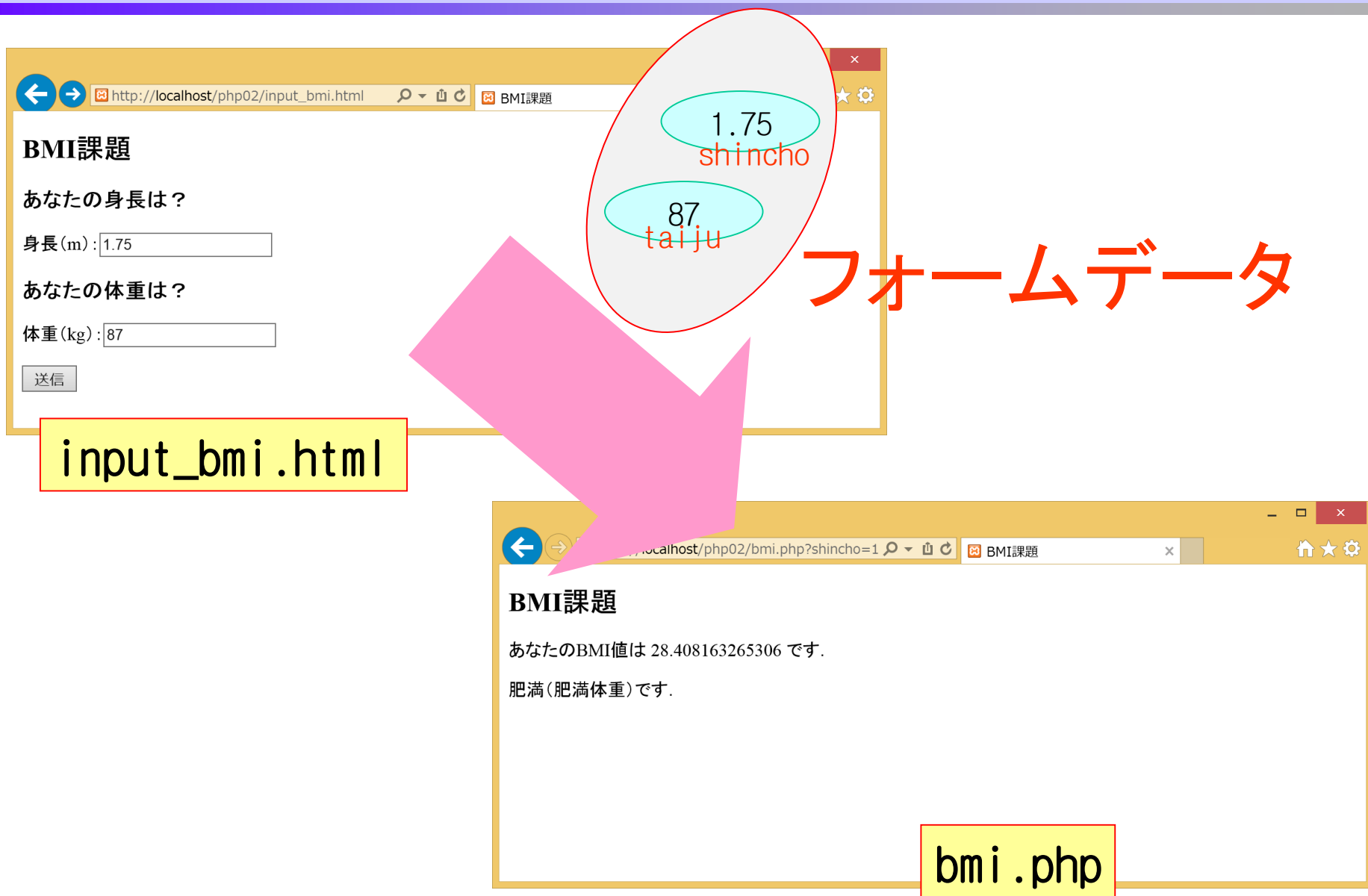
提出課題

- 課題2: 「身長(m)」と「体重(kg)」を入力し「送信ボタン」を押すと, BMI値を表示する動的なWebページを作しましょう. BMI値は体格指数で, 計算式は「BMI=体重(kg)÷(身長(m)×身長(m))」である(単位に注意!). また, 以下の表を参考に判定(例「あなたは肥満(肥満体重)です.」)と表示させてみましょう.

- ◆ 手順1: HTMLのファイル(「身長」「体重」入力Webページ)を「input_bmi.html」という名前で作業フォルダに作成する.
- ◆ 手順2: PHPプログラムのファイルを「bmi.php」という名前で作業フォルダに作成する.
- ◆ 手順3: Webブラウザで手順1で作成したページにアクセスし確認する.
「http://localhost/php02/input_bmi.html」

BMI	肥満度	
19.8未満	- 10%未満	やせ(低体重)
19.8~24.2未満	- 10%~ + 10%未満	正常(普通体重)
24.2~26.4未満	+ 10%~ + 20%未満	肥満傾向(過体重)
26.4以上	20%以上	肥満(肥満体重)

提出課題



提出課題

- 課題3: 「年」と「月」を入力して, 指定したカレンダーを表示するWebページを作りましょう.

※「年」と「月」はメニュー(リストボックス)を使う, および, PHPプログラムで作成すること.
年...1900から2099
月...1から12

- ◆ 手順1: PHPのファイル(「年」「月」入力Webページ)を「input_calendar.php」という名前で作業フォルダに作成する.
- ◆ 手順2: PHPプログラムのファイルを「calendar.php」という名前で作業フォルダに作成する(本資料における前回課題の解答をコピーして改造する).
- ◆ 手順3: Webブラウザで手順1で作成したページにアクセスし確認する.

「http://localhost/php02/input_calendar.php」



← → http://localhost/php02/input_calendar.php カレンダー

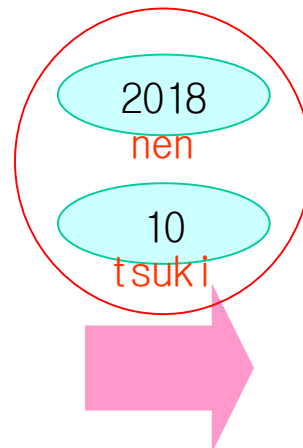
カレンダー課題

表示するカレンダーは?

年: 2018 ▼

月: 10 ▼

送信



← → http://localhost/php02/calendar.php?nen=2018&tsuki=10 カレンダー

カレンダー課題

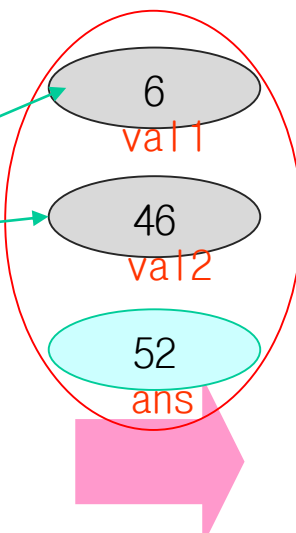
2018年10月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

提出課題

- 課題4: 1から100までの乱数による2つ整数の足し算の問題を表示, 解答を入力して「送信ボタン」を押すと, 正解か不正解か(不正解の場合は正しい答え)を表示するWebページを作しましょう.
- ◆ 手順1: PHPのファイル(問題の表示と解答の入力Webページ)を「exam.php」という名前で作業フォルダに作成する(フォームデータは**POST**で送ること!!).
- ◆ 手順2: PHPプログラムのファイルを「answer.php」という名前で作業フォルダに作成する(フォームデータは**POST**で受け取ること!!).
- ◆ 手順3: Webブラウザで手順1で作成したページにアクセスし確認する(何回か試すこと).

「<http://localhost/php02/exam.php>」



不正解の場合

提出課題

- 課題5(上級問題): 課題4を拡張し, 演算も3つの演算(加算・減算・乗算)からランダムになるような合計10問の試験を作成してみましょう. さらに成績(1問10点の合計点)を表示してみましょう.

※除算(=割り算)は今回対象外(割り切れない答えになる可能性があるので).

- ◆ 手順1: PHPのファイル(問題の表示と解答の入力Webページ)を「[exam10.php](#)」という名前で作業フォルダに作成する(フォームデータは**POST**で送ること!!).
- ◆ 手順2: PHPプログラムのファイルを「[answer10.php](#)」という名前で作業フォルダに作成する(フォームデータは**POST**で受け取ること!!).
- ◆ 手順3: Webブラウザで手順1で作成したページにアクセスし確認する(何回か試すこと).
「<http://localhost/php02/exam10.php>」

計算試験10課題

25+77=

85-12=

84-10=

15-1=

8-72=

94-11=

76×23=

32÷77=

38×55=

51+55=

この3つは **hidden** で送る
(かつ, それぞれ配列で)

[25, 85, ..., 51]

val1[]

[77, 12, ..., 55]

val2[]

[0, 1, ..., 1]

ope[]

[102, 73, ..., 106]

ans[]

計算試験10課題

25+77=102 ○ 正解

85-12=73 ○ 正解

84-10=74 ○ 正解

15-1=14 ○ 正解

8-72=90 × 不正解(正解は-64)

94-11=83 ○ 正解

76×23=873 × 不正解(正解は1748)

32÷77=105 × 不正解(正解は109)

38×55=7630 × 不正解(正解は2090)

51+55=106 ○ 正解

60点/100点満点